

回覧

令和3年(2021年)度 第 六 回 定例役員会 2021年6月5日(土)

～2021年6月3日(月)作成～ (会場:ボンシャンス)

< 館長報告 >

館長 土井 承夫(どいよしお)

< 公民館新築進捗(しんちよく)状況 >

皆様には益々お元気でご活躍の事とお慶び申し上げます。
予定通り6月1日より旧公民館の解体工事がスタートしました。

先月5月15日付けの「館長報告(号外版)」でご報告した通り次の業者様にこの解体工事をお願いしております。

会社名: 株式会社 新喜建工(しんきけんこう)様

住所: 倉吉市関金町安歩40番1号 TEL: 0858-45-3605

～ 解体作業のスケジュール ～

- 6月1日(火) *現公民館の解体作業対象区域に「立ち入り禁止」のバリケードを設置しました。これ以降、解体新築工事が完了する11月末まで同区域への立ち入りは出来ません。
*解体するのは旧公民館本体、子供会館、放送石造記念碑です。まだ新しいコンテナ倉庫は新築後再利用します。
*旧公民館そばの交差点近くにあるかなり古い
周辺住宅地図の看板も撤去します。

- 6月1日(火)～6月30日(水) この1か月間で解体作業を完了します。
数日のずれもあるかも知れませんが納期厳守で作業頂きます。
5月末に周辺住民の皆様(1,2,3,4,5,6班の合計50世帯の皆様)には工事概要や注意点等を盛り込んだ工事会社作成のチラシをお配りしました。その他の14個の各班の皆様には同じ

チラシを回覧手配致しました（6月1日以降回覧）



<福庭自治公民館解体工事開始（2021年6月3日撮影）>

～福庭自治公民館・コンテナ仮事務所と仮倉庫について～

先月の「館長報告5月号」（本編）にてお知らせしている様に新公民館が完成する11月末日までは、旧公民館近くの倉吉市3号公園（区域は7班）にコンテナ仮事務所と仮倉庫を設置しています。次ページの上側写真は敷地の全景で右には「重道組」殿のコンテナ仮事務所もあります。下側の写真は公民館コンテナ事務所（右側のコンテナ）の内部の様子です。配布物のテーブルと白板、コピー機、放送機器（防災無線兼ねる）、20個の班の配布物・回覧資料仕分け用の各ボックス（アパート含む）があります。各班長殿、各部長殿は毎月必要に応じてこの施設を利用ください。その他、神社護持会、農事組合、小学校子供会、中学校生徒会、青年団、消防団、福寿クラブ（老人会）、山林愛護会等の方々、また一般の方々で利用を希望される人は鍵の保管場所も含めてご自分が所属する班の班長さんに利用方法を教えて貰って下さい。直接館長の私に連絡頂いても構いません。（携帯：080-4261-1979）宜しくお願ひします。尚、コンテナ内にエアコンはありません。これから暑い夏ですが、窓や扉を開けるなど工夫して利用ください。（私はクーラーを入れる様、要求したのですが会計殿に却下されました。当然の事ですが・・・）



＜倉吉市 3 号公園内にある福庭自治公民館コンテナ仮事務所と仮倉庫＞
（画面左側の 2 個のコンテナが福庭自治公民館の所有、その内の右側が仮事務所）



＜福庭自治公民館コンテナ仮事務所の内部の様子＞

＜福庭自治公民館新築特別寄附金（自主的な寄附）の集計状況＞

この自主的な寄附金はプラスアルファ、つまり予備の財源です。極端な言い方をすると「ゼロ」でも新公民館は完成します。然し、これが増えれば増える程低利借入金の返済額と返済期間が減っていくという重要な財源でもあります。その金額に応じて寄附金銘板にお名前を刻(こく)し永く新公民館に掲げます。

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。(26-0770、携帯 080-4261-1979) お電話を下されば、私が戴きに参ります。

この寄附金の受付期限を新公民館が完成する令和 3 年 11 月末日と致します。また新公民館完成後も様子を見ながら引き続き受け付け致します。

*令和 3 年(2021 年)5 月 31 日(月)現在の集計結果(総計)は次の通りです。

(1) 寄附頂いた世帯数： 150 世帯 (全体の約 36.1%)

(2) 寄附金の合計： 484 万円

(3) 個々の寄附金額の概要：最高額：30 万円(1 名) 30 万円(福庭青年団) 25 万円(2 名：1 名は福庭、もう 1 名は福庭以外の方です) 20 万円(1 名) 10 万円(12 名) 5 万円(11 名)、3 万円(22 名)、2 万円(15 名)、1 万円(84 名・内 1 名は福庭以外の方です)

～ 館長のちょっと一服コーナー ～

鳥取城北高校出身 大相撲大関 「照ノ富士」連続優勝のお話です。

かねてより「鳥取が自分の第二の故郷です」と話している大相撲大関 照ノ富士が大関に復帰した先月の夏場所で見事連続優勝を果たした。幕下の序二段に転落した後の大関復帰も過去に例がないが、大関に復帰したその場所で優勝したのは照ノ富士が初めてだ。最初の大関昇進時には、例のないスピード出世に「世界は自分を中心に回っている」等と豪語していた男に、膝(ひざ)の故障(左半月板損傷)悪化と糖尿病さらには腎臓結石も追い打ちをかける。その上その前より継続治療していた C 型肝炎の症状も進んで所謂「満身創痍(まんしんそうい)」の状態になって相撲番付けの最下位「序の口」の一つ上の「序二段」まで陥落した。序二段陥落は大関はおろか三役経験者としても初めての事だった。だが、師匠の伊勢ヶ濱親方の「辞めるにしても辞めないにしてもまずは病気を治せ」という強い指導により関取復帰に向けて摂生(せっせい)に努めた。

内臓疾患の主な原因の一つと思われる「お酒の飲み過ぎ」についても自分から進んで断酒している。かつて照ノ富士は相撲界でも一、二を争う酒豪と言われていた。

さて、モンゴル人である照ノ富士の本名はガントルガ・ガンエルデネ。モンゴルの母親は「旭天鵬（きょくてんほう）の様に誰にも優しくて親切で温厚なお相撲さんになって欲しい」と願っていた。だが、父親の採掘事業の失敗倒産により照ノ富士は家計を支えるため相撲界に入った。北の富士の著書によると、照ノ富士は「何が一番好きですか？」と聞かれると「お金！」と答えるという。この貧困と病気という二重の逆境がむしろ彼を奮い立たせた。NHK 解説の「舞の海」がしきりに「照ノ富士は地獄を見た」と言っていた。地獄から這い上がった男は強い。「相撲は立ち合いで 80%決まる」と言うが立ち合いの彼の顔の形相（ぎょうそう）は下の写真の運慶・快慶作で有名な東大寺南大門の金剛力士像（仁王像・国宝）の表情に似ている。私は個人的には、同期の遠藤の様な温厚で冷静でサラリーマン的な顔つきの立ち合いよりも照ノ富士の様な闘志をむき出しにした鬼の形相の方が好きだ。テレビでこの照ノ富士の仁王像の様な表情と厳しい息使いの立ち合いを観ると無性に興奮するし絶対に敗けるなど彼に向けて心で叫んだりもする。



<東大寺南大門の金剛力士像（仁王像）>
(西暦 1200 年頃、運慶・快慶の作)

一度地獄をみた男は強い。来場所は綱取りの場所である。元オフコースの小田和正さんの「風の坂道」という心の琴線に触れる名曲がある。その歌詞の中に「いいわけしていないか 怒りを忘れていないか、弱いから立ち向かえる 哀しいから優しくなれる 二人で生きる 夢破れても 二人立ち尽くしても 明日を迎える 誰のものでもない 誰の為でもない かけがえのないこの僕の人生」とある。・・・照ノ富士！頑張れ！！



<連続優勝し天皇賜杯を抱いて喜ぶ鳥取城北高校出身の大関 照ノ富士>
(Google Site の NHK WEB NEWS から引用。2021 年 5 月 23 日大相撲夏場所千秋楽)